



**「協育」見本市<2015年(H27年)>  
第8回 地域発『活力・発展・安心』デザイン実践交流会  
『協育』ネットワークの構築による  
学校・家庭・地域の連携推進の在り方**

由布市立阿蘇野小学校 校長 伊東俊昭

# 1. なぜ、『協育』ネットワークの構築を目指すのか

- 学校だけでは難しい問題や課題の解決を図る  
(安全安心・理不尽な要求への対応・家庭教育)
- 授業内容や学校行事等の充実が期待できる  
(学力向上・体力向上・児童の主体性)
- 開かれた学校づくりが進む(保護者と地域住民からの信頼)
- 教職員の専門性を高めることにつながる

※保護者や地域住民の生涯学習の機会となる学校支援

『あの校長の時は良かった！あの先生は良くしてくれた！  
あのPTA会長の時は……』ではなく。

組織的に、計画的に、支援を継続していくために



# ○海外派遣プログラムから見えてきたこと

- ・ 学校・家庭・地域社会が連携・協力した教育の協働が盛んに！
- ・ コミュニティ・スクールでは、特色ある学校づくりが
- ・ 出会った全ての教職員が誇りと情熱に満ちあふれる姿
- ・ 子どもたちの学びに真に責任を持ち、教育実践する姿

担任

イギリス

学習サポーター

校長先生

学習サポーター

2012年



# イギリス(マンチェスター)の学校

教師が80%で児童が20%

**改革**

言語活動の場の保障

教師が20%で児童が80%

児童の発言の量を増やす

話を聞いて、声かけをする場を増やす必要

保護者や地域住民による学習サポーターの支援の活用



# 由布市立阿蘇野小学校

2014年度～校長

明治7年開校

児童数:12人

教職員:8人(非常勤含む)

家庭数:8戸





# 学校の教育目標

自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、  
たくましく生きる子どもの育成

ソフトバンクのCMで撮影された場所の近くの森

## 特徴

- 関わる人の数が少なく、限られている。
- 地域に公共施設などが少ない
- 「阿蘇野はつまらない」という子どもがいる
- 人数が少ないので、移動しやすく、小回りがきく

課題 人間関係が固定化している！自分の考えを人前で発言することが苦手！  
※より多くの人と関わらせたい。※地域の外の世界に目を向けさせたい。  
※他の地域と比べることで、地域の良さに気づかせたい。



## 改めて言うまでもないが、 家庭との連携は欠かせない

- 基本的な生活習慣と家庭学習の定着を進めないと学力の向上も、体力の向上も、生活指導上の課題解決も取り組むことが非常に難しい。
- 連携を豊かに、強くするために職員と一緒に大切にしていることは……
  - ◆教職員も保護者や地域住民と**一緒に汗を流す**こと。  
(環境整備や清掃作業)
  - ◆子どもの**ちょっとした情報も全ての職員で共有する職員集団**であること。
- ・虫歯や視力等治療の進まない子どもに対して、どう対応していくのか
  - 担任だけに任せない。
  - 保護者に対して養護教諭や校長・教頭からもちょっとした機会(PTAの集まりや活動)を利用して、必要な助言をする。
  - 保健だより**に併せて**学校だより**にも同じような内容を掲載する。
  - 担任・養護教諭・管理職・その他教職員が連携して対応する。

同一方向で、全教職員が一丸となって指導をしていく！ **ぶれない指導!**

## ※保護者への**能動的な働きかけ**として

- ・「**学校だより**」で写真をふんだんに盛り込み、子どもや教職員の取組の様子を伝える。
- ・**校内掲示**で子どもや教職員の様子を知らせる。

## ※保護者への**直接的な取組**として

- ・PTA活動における連携要請  
(但し、環境整備などできるところまでは教職員で行う)

そのことを**校長が保護者にしっかりと伝える。**

- ・PTA活動を活性化するために、各種部会の活動の活性化だけでなく、**研修の機会をインパクトのあるものにした。**

(子どもも、保護者も、先生方もびっくり！)

**「他の地域の方がここまで協力してくれる・・・?!」**



# 地域協育推進担当の位置づけ (教務主任・研究主任)

「地域**教育**」から  
「地域**協育**」へ

「**教頭**」から  
「**教諭**」へ



研究主任(小野)	部長 教務	
導部	研究推進委員会	
主事	学力向上推進委員会	
)	特別支援教育推進委員会	
安全	人権・同和教育推進委員会	
佐藤	地域協育推進委員会	
佐藤	研修計画	小野
藤	地域協育推進担当	小野
藤	道徳教育推進委員	橋本
	特別支援コーディネーター	小野

# 地域協育推進担当と校区コーディネーター との打ち合わせ(庄内公民館)

地域協育推進担当

校区コーディネーター





# ゲストティーチャーの支援 の一部





# 「響きの会」の皆さん

2014年6月19日(木)



由布市立阿蘇野小学校

# 腹話術(道德)





# 地域人材の支援による授業





# 和太鼓指導









# 別府プロジェクト





# 積極的な情報発信





# 学校だよりによる情報発信

**阿小 黒岳**  
文責 伊東  
N09  
6.16

**「プロトデビルズ」の選手が来てくれたよ!**  
6月12日(水)に、プロバスケットボール選手の高倉さん、高田さんとスタンプの岡部さんが来校しました。選手たちと交流をしてくれました。バスケットボールの練習をした後、「プロトデビルズ」の選手たちと交流をしてくれました。バスケットボールの練習をした後、「プロトデビルズ」の選手たちと交流をしてくれました。バスケットボールの練習をした後、「プロトデビルズ」の選手たちと交流をしてくれました。



**阿小 黒岳**  
文責 伊東  
N09  
6.16

**プール開きとPTA集会**  
6月13日(金)  
本日の練習が始まりました! 6月5日(水)から始まりました。川野勝巳さんの指導の下、プール開きを行いました。PTA集会も、6月11日(水)に行われ、お話し合いを行いました。



**阿小 黒岳**  
文責 伊東  
N09  
6.16

**読み聞かせ**  
6月11日(水)  
読み聞かせの活動を行いました。子どもたちは、本を読んだり、話を聞いたりして、楽しみました。

**民生児童委員来校**  
6月13日(金)  
民生児童委員の方々が来校されました。子どもたちと交流をしてくれました。



**阿小 黒岳**  
文責 伊東  
N010  
6.27

**「三味線の演奏を聴きました」**  
6月19日(木)  
主内公民館の長尾コーディネーターの二女、藤井さん、秋吉さん、藤井さんが、三味線の演奏を聴きました。子どもたちは、三味線の音色に魅了されました。



**阿小 黒岳**  
文責 伊東  
N010  
6.27

**PTA研修旅行**  
6月21日(土)  
PTA研修旅行を行いました。市川市へ出かけ、研修を行いました。子どもたちも楽しめました。



**阿小 黒岳**  
文責 伊東  
N010  
6.27

**ワサギのチョビが転校しました!**  
6月15日(水)  
ワサギのチョビが転校しました。子どもたちは、チョビの転校を歓迎しました。





# 「地域協育だより」

(地域協育推進担当作成)

地域協育だより

## ネットワーク

6月20日 発行 第1号



### 三味線（日本の楽器）の体験学習

6月19日（木）に阿蘇野小学校の児童に三味線を『響きの会』の佐藤さん、後藤さん、秋吉さんが紹介してくれました。

#### 三味線って何でしょう！

三味線という楽器は、今から約400年前に今の沖縄県から来た蛇皮線を作り変えた（改良した）ものです。



三味線の部分と名前の紹介が最初ありました。  
「棹」の材料は、紅木、紫檀、花梨だそうです。  
「胴」は花梨、「糸巻き」は黒檀、紅木、象牙  
「駒」は象牙、現在はプラスチック  
「バチ」銀杏の葉の形をしたもの。つげの木、象牙、プラスチック、ベア甲  
「糸」3本は太い方から「一の糸、二の糸、三の糸」  
「皮」は猫の皮から犬の皮へ  
そのあと、三味線の演奏では「荒城の月」「ふるさと」など4曲の紹介がありました。途中子どもたちも手拍子を入れたりして楽しみました。  
そして、子どもたちの三味線体験、最後に庄内の歌を紹介して頂き終わりました。校長先生がすぐに写真に取った

画像を印刷してくれて、記念に6年生が渡しました。また、来て下さいという声と共に！

### 和太鼓（日本の楽器）今年も！！



今年も和太鼓が始まりました。  
河野さんの指導の下、2度目の練習が6月19日（木）の午後ありました。  
今年は1年生の琢真さんが加わり、11名でがんばっています。昨年の演奏を思い出しながら約1時間の練習に励みました。これからもっと練習していきます。  
発表する日が楽しみです。  
学校側は、山野先生、工藤さんを中心に練習を見守っています。

来週は、カブトムシのこと、お茶でふれあいがあります。次回はその特集です。

地域協育だより

## ネットワーク

6月30日 発行 第2号



### 六年生が茶道の体験学習

6月27日（金）に阿蘇野小学校の6年生に『茶道』を体験させてくれるために佐藤昭子さん、佐藤住江さん、佐藤トキ子さんが来てくれました。

#### 茶道とは！

茶道の歴史は古く、今から約450年くらい前安土桃山時代に千利休が始めたという話が残っています。



「和菓子」を最初にいただいて、そのあとお茶をいただきました。けっこう作法はむずかしかったと思います。何度聞いても順番をまちがえそうでした。透弥さん、お菓子おいしそうに食べていますね。お味はどうでしたか？響花さんはしっかり聞いているようですが、作法はわかりましたか？  
とても楽しそうに6年生だけでなく、他の職員も参加し2回くらいお茶をいただいたそうです。校長先生も参加して頂きました。作法が上手ですね。貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。  
来年は2学期にしたほうがいいのかという話を聞きました。時期的なものがあるようですので検討して来年は2学期に実施できるといいなと思います。最後に6年生から「今日はありがとうございました。また来て下さい。」というお礼の言葉がありました。いろいろお話をさせていただいている公民館の長尾さんに感謝の一時でした。これからは阿蘇野の子どもたちのために多くの地域の人を紹介して下さい。



また、6月26日（木）には、昆虫の話を3・4年生にするために伊藤さんが見えられました。阿蘇野小学校では中学年の理科の時間に生きものごの調べます。貴重なお話を頂き、特に男の子はクワガタの様子を毎日観察しています。多くの生きものごのこともっと知りたいと思うと自然科学の目が養われていくと思います。これを機会に子どもたちに阿蘇野の自然をもっとみてほしいと思います。



# 「地域協育だより」

## (地域協育推進担当)

地域協育だより

## ネットワーク

10月8日 発行 第3号



### やっと実現山崎さんの腹話術

10月6日(月)に阿蘇野小学校に『腹話術』の山崎さんが来て下さいました。本当は1学期に来ていただく予定でしたが台風のため学校が臨時休業になり、2学期に持ち越されていました。



今回も台風で心配しましたが来て頂くことができました。毎年のように阿蘇野小学校に来て下さいます。その都度いろいろな話をお人形(毎回人形が違います)と一緒にして下さいます。

今回は人形学校1年生のけんちゃんと一緒にいろいろな話をしてくれました。同じ1年生の琢磨さんが一生懸命聞いていました。

琢磨さんだけでなく他の子どもたちも、時間が経つにつれて、だんだん前に動いていました。

それだけ、おもしろく引きつけられる腹話術だったと思います。

お話の中で、「おはなしをきくとき」は、

- ① 耳で聞くのはもちろんのこと、そのほかに大切なのは、
- ② 目で聞く ③ 頭で考えて聞く ④ 心で聞く・・・。

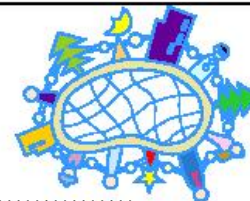
『聴いている』と『聞こえている』の違いなど、よくわかるようにお話を頂きました。

お話の最後に、赤、黄色、青の○を使って、信号機の話をして下さいました。特に、信号機の黄色が赤に変化する手品も見せて頂き、素晴らしいかったです。(注意の黄色はすぐ赤に変わるので気をつけましょうという手品でした。)

地域協育だより

## ネットワーク

11月10日 発行 第4号



### 楽しんだ秋の木の実の工作

10月28日(火)に九重自然の家の一木先生が阿蘇野小学校に『トトロの森』ということで、秋の木の实(どんぐりや松ぼっくりなど)で工作教室を開いて下さいました。子どもたちはそれぞれに木の实や小枝などを使って自分だけの「トトロの森」をつくりました。トトロの森ではなくいろいろなものができました。

あつという間の2時間でした。初めての「ホットボンド」も上手に使っていました。先生方も思い思いに作っていました。この時間だけ子どもに返ったように思いました。子どもたちは、身近にあるものをこんなに使って工作することがなかったようで、とても楽しかったようです。作品は「ふるさと祭り」「期末PTA」まで学校に飾っておくようにしています。



←秋の木の  
実を使って  
トトロの森  
作品作り  
楽しい一時



そろばん→  
姿勢よく  
指示聞いて  
頑張った  
そろばん

### 3・4年生そろばん教室ある!

10月30日(木)に挾間の平本さんがそろばんの指導に来て下さいました。3・4年生が2時間教科書にある問題を中心に練習しました。3年生も4年生も1年ぶりにそろばんをしました。最初はむずかしそうにしていたのですが、慣れるにしたがって先生の言うとおりに置くことができました。教科書では2時間だけになっています。今回もその2時間をしていただきました。但し、1時間目は主に3年生内容を、2時間目は主に4年生内容をしました。2時間目は3年生にとっては少しむずかしかったようですが、頑張っていました。公民館の長尾さんには、忙しい中今回は講師を捜して頂きました。おかげで挾間町の方を紹介して頂きネットワークの広がりができました。

# ゲストティーチャーの支援の様子を掲示





# P T A活動 の活性化





# PTA研修旅行

インパクト  
のある取組



地域と連携するとどんなことが出来るか知っていただく！！



# 保護者の協力で校外学習





# 体験活動 の一部





学校から地域へ





# 田植え





# 稲刈り





# 交流学习





# 大入島小・上堅田小との交流





他校の職員や児童も  
学習サポーター  
ゲストティーチャー

他校との交流の推進



2014年6月  
アンケートから、うさぎ二羽のなまえを決定

お伊下<sup>お伊下</sup>の<sup>しま</sup>大入島小学校から<sup>カウ</sup>学校紹介<sup>しょうかい</sup>がとどいた  
2014年6月30日(月)

島っ子<sup>しま</sup>ズリ

大入島の<sup>ま</sup>紹介

色紙配り

花配り

トビ火<sup>とび</sup>交流

鳥<sup>とり</sup>大会

人物紹介

学校紹介

A large display board with a light green background is mounted on a wall. It features several columns of text and photographs. The text is in Japanese and includes titles like '島っ子ズリ', '大入島の紹介', '色紙配り', '花配り', 'トビ火交流', '鳥大会', '人物紹介', and '学校紹介'. There are also small photos of people and groups, some of which appear to be from school events or exchanges.



# 上堅田小学校との交流



他校との交流も広い意味での「協育」ネットワークと考えている！



# 中国の方との交流





# 大入島小学校との交流





# 小松寮(福祉施設)訪問





# マスコミを利用する！





# 大分合同新聞

由布市



菅美知子

庄内町の阿蘇野小学校で「大友宗麟を学ぶ先哲講座」があった。

大友宗麟と地域の関係を学ぶ児童たち  
|| 阿蘇野小学校



た。県立先哲史料館の桜井成昭・主任研究員が宗麟と阿蘇野地区の関係について話した。

桜井主任研究員は、かつて大友氏が支配した阿蘇野は交通の拠点だったことを紹介。さらに干し草、まきなどの燃料を供給する重要な地域だったことを分かりやすく説明した。児童は約500年前を想像しながら熱心に聞いていた。6年の伊藤敬吾君(12)は「僕たちの住んでいる地域は大事な役割を果たしていたことを知った。阿蘇野ってすごいなと思った」と話した。



# きれいな滝やおいしい弁当



きれいな滝も見たよ



3年 工藤 大和記者(9)

## テクテク努力遠足

僕たちは、昨年の10月に努力遠足に行きました。1、3年生は16、4、5、6年生は18を歩きました。阿蘇野小学校から庄内のカントリーパークまで歩いていく途中で



休憩をしたり、きれいな滝を見たりしました。カントリーパークに着いたときは、うれしかったです。

僕は、毎日8を歩いて登校しているので、あまり疲れなかつたけど、周りのみんなは疲れ気味だったです。みんなで食べた弁当はおいしかったです。

## 由布市阿蘇野小学校特集

私たちの阿蘇野小学校は、山間にある児童12人の小さな学校ですが、楽しいことがいっぱいあります。昨年秋にあった農業体験でもち米やサツマイモがたくさん取れて、とてもうれしかったです。

### こども記者リポート



大きな芋が取れたよ

## 一番大きな芋掘った!

昨年11月に全校のみんなと校内の畑で芋掘りをしました。橋本和恵先生が朝からサツマイモのつるを刈ってくれていたため、芋を探すのが簡単でした。

私が掘った芋が一番大きくて、1以上ありました。とてもうれしかったです。

3年 藤菜記者(9)

## 気持ちすっきり 稲刈り



たくさんもち米が取れました

昨年10月15日の3、4時間目に、学校近くの私たちが田植えをした田んぼで稲刈りをしました。同級生の工藤大和さんと望月城羽さんのお父さんから稲の刈り方を教えてもらいました。高学年から稲を刈り始めました。少ししてから1、3年生も刈り始めました。刈っているときに手首がとっても痛くなりました。私は、1時間くらいかかるかなと思っただけど、意外と早く終わりました。



3年 鶴原 珠代記者(9)

刈り終わった時、田んぼを見て気持ちすっきりしました。取れもち米が80取れました。取れたお米を使って、ふるさと祭りお餅つきをしました。おいしいお餅を食べました。



とて社会見学で男池に行きました。バスで学校から男池までは約10分です。バスを降りて森林浴を楽しみました。

水を飲みました。とても冷たくて、おいしかったです。そして、がまん大会をしました。私は、手

が1日2万も湧き出ています。男池は、私たちにとって自慢できる場所です。

田、ける  
のな川が佐る

葉っぱの化石を見つけた!



6月9日に社会見学で由布市庄内町の坂本鉱業所に行きました。社長さんにケイソウ土(珪藻土)についての話をし

てきたそうです。日本でケイソウ土がとれるのは4カ所で、そのうちの1カ所が阿蘇野だということでした。そして、ビ



# OBSラジオの収録「学校紹介」





# 学校行事





12人の児童に対して、  
100人近くの保護者・地域住民の参加！

法被は蒲江小学校  
から借用

**ふるさと祭り**

11月23日(日)



# 他校との連携



学校行事は、学校について知ってもらい、理解をしていただく機会！  
学校と家庭と地域住民を繋ぐ絶好のチャンス！

他校の児童に影響を受け、高校生に憧れる



# 情報発信





【餅つきをしました！】  
午前中は、保護者や地域の皆さんと一緒に餅つきをしました。全児童が餅つきをしました。お餅を、昼食やおやつに食べました。お母さんや先生も参加してくれました。





【11月23日】「ふるさとまつり」を行いました。保護者や地域の方々をお招きして、ふるさとまつりを開催いたしました。児童が100名近く集まって下さり、児童会長が挨拶し、児童の発表活動から始まり、3人の個人発表もありました。





【日頃の学習の成果を発表しました！】  
子どもたちは、まず、「妖怪ウォッチ」の発表を行いました。大きな声で発表をしながら、次は、宮沢賢治の「雨にモクズ」を群読しました。さらに、音楽劇「1匹のねこ」を披露しました。ゲストティチャーの上浦先生との練習の成果を出して、大きな声で発表しました。そして、太鼓の演奏、潮流・祭り太鼓、先生との指導の下、練習してきたお祭りの演奏ができて、息の合った入った演奏が行われました。子どもたちも、最後に行ってくれた、阿蘇野っ子ソラ舞を見せられました。子どもたちも、大きな声援や暖かい拍手をいただきました。満足げな顔で輝いていました。





【校長より】  
子どもたちは、まず、「妖怪ウォッチ」の発表を行いました。大きな声で発表をしながら、次は、宮沢賢治の「雨にモクズ」を群読しました。さらに、音楽劇「1匹のねこ」を披露しました。ゲストティチャーの上浦先生との練習の成果を出して、大きな声で発表しました。そして、太鼓の演奏、潮流・祭り太鼓、先生との指導の下、練習してきたお祭りの演奏ができて、息の合った入った演奏が行われました。子どもたちも、最後に行ってくれた、阿蘇野っ子ソラ舞を見せられました。子どもたちも、大きな声援や暖かい拍手をいただきました。満足げな顔で輝いていました。





【由布はさま太鼓】  
で、児童をはじめ、2校が祭りに華を添えて、児童会長が挨拶し、児童の発表活動から始まり、3人の個人発表もありました。

# 情報発信

地域協育だより

## ネットワーク

11月25日 発行 第5号



また来年来るね、校長先生もお元気で！

11月23日（日）に今年の「ふるさと祭り」がありました。晴天に恵まれ、暖かい一日でした。山崎教頭の開会の言葉でふるさと祭りが始まりました。開会では、伊東校長のあいさつや児童会長の伊藤敬吾さんの言葉がありました。その後、学習発表会が行われました。学習発表会のオープニングでは、「妖怪たいそう」と自己紹介がありました。特技披露では、生野健太郎さんが「ギャロップ」、工藤響花さんが「亜麻色の髪の少女」をピアノで演奏しました。最後に工藤大和・響花さんが「メヌエット」をピアノとバイオリンで連弾しました。

ここから全校児童の演技や歌声が始まりました。群読宮沢賢治の「雨にも負けず」では、本文と大分方言で行い、地域の方から大きな拍手をもらいました。次の音楽劇



午前中おうちの方と一緒にもちつきをしました。音楽会に向けての太鼓も披露しました。



「1匹のねこ」では、上浦先生のピアノに合わせてセリフと5曲の歌を発表しました。「いいよ。」「かわいい。」など地域の方の声があちこちで聞かれました。そして、今回は由布はさま太鼓のみなさんと由布高校伝統芸能部のみなさんをお迎えしました。演面られ、見子、礼

## 学校だより「黒岳」は212戸に配布！

## 地域教育だより「ネットワーク」は公民館などへ配布





阿わ 黒い岳

文責 伊東

№25  
1.9

「始業式をおこないました！」  
1月8日(木)の朝、多目的ホールにて第3学期始業式を行いました。1人1人が冬休みの反省と3学期のめあてを発表しました。学習や運動、生活面で頑張ることを話すことができて、具体的な目標を持って努力をすることが大切だ、という校長の話がありました。全員で国歌を元気に歌い、3学期のスタートをきることができました。



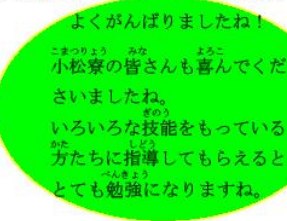
プロのダンサーのヨウコさんとチエさん、プロのミュージシャンのピンさんの指導と別府プロジェクトのアヤヤさんと



トリナさんとユカリさんの支援で創作ダンス「あそのっこワンダーランド」を完成させました。小松寮を訪問し、

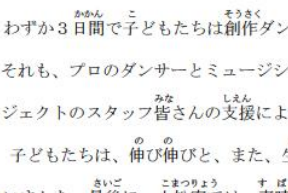


阿蘇野っ子ソーランと妖怪体操を表現し、セブンジャンケンと風船ゲームをして、阿蘇野っ子ワンダーランドを発表!



よくがんばりましたね!

小松寮の皆さんも喜んでくださいましたね。  
いろいろな技能をもっている方たちに指導してもらえととても勉強になりますね。



わずか3日間子どもたちは創作ダンスを仕上げました。

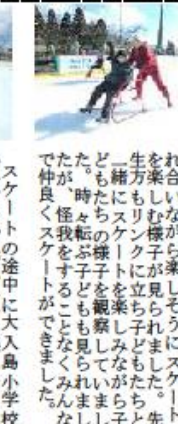
それも、プロのダンサーとミュージシャンの指導と別府プロジェクトのスタッフ皆さんの支援によるものです!

子どもたちは、伸び伸びと、また、生き生きと活動できて

いました。最後に、小松寮では、素晴らしい発表と交流ができました。



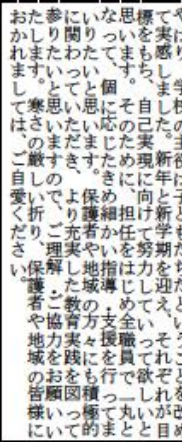
授業が始まりました!  
1月9日(金)から各教科の授業が始まりました。子どもたちは新たな気持ちで先生の話をしっかりと聞きながら、学習に臨む姿が見られました。授業で学んだことをしっかりと定着させるために、基礎学力は自ら身につけていくのではなく、先生や漢字練習を初め、子どもたちが積極的に学習の様子を子どもたちのやる気が増すように、褒めて伸ばす!



「スケート教室に行きました!」  
天候にも恵まれ、最高のコンディションの中、施設の方々にスクーターの後に準備体操をしてスクータートリックに挑戦しました。子どもたちは、最初は壁を伝って移動するなどのコツを伝授されて、スクーターを滑れるようになりました。スクーターの楽しさを感じ、スクーターが上手に滑れるようになりました。



「校長より」  
職員は、冬休みの間出勤し、新学期的の準備をしておりましたが、子どもたちの声や元気のいい状況で来年度が始まりました。子どもたちが元気な様子を見て、職員も元気な気持ちで迎えます。自己実現に向けて、児童に寄り添った指導や支援を行い、子どもたちが活躍の場を広げ、個性が輝く学校を目指します。

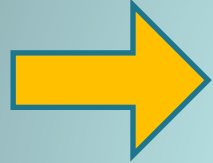


「大入島小学校と交流をしました!」  
大入島小学校の子どもたちとスクーターの楽しさを感じ、スクーターが上手に滑れるようになりました。



# 阿蘇野小学校の課題

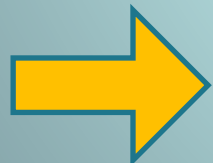
○学習の苦手な児童は、保護者や地域住民の方たちに学習を苦手としていることを知られたくない。  
(自尊心・羞恥心への対応)



与える課題の工夫・打ち合わせの工夫

○地域は、民家が点在しており、高齢者が多いため  
に学校に来ていただくことが難しい。(送迎の問題)

○保護者の数が少ないので、学習サポーターをして  
いただける方が限られてくる。



校区外からの支援者の参加

公民館の校区コーディネーターとの連携



# 3. まとめ





# 見えてきた課題

## ○『やはり校長が替わると……？』

※赴任してきた職員にとっては、今ある『協育』ネットワークが**当たり前**、読み聞かせボランティアや地域人材が来てくれて**当たり前**という意識になりがち

→『教育の協働』や『協育ネットワーク』の意義についての**共通理解**

→**地域協育推進担当**の位置づけと役割の明確化

→赴任してきた先生の理解の促進

**研修の実施**

## ○子どもの態度や教職員のマナーへの不満

→人と接するときの態度やマナーの向上が不可欠

**だからこそ、学校以外の人と接する機会が必要**



# どこの学校でも、目指している方向は基本的に同じ

- 学力向上
  - 体力向上
  - 豊かな心の育成
- 主体性  
自ら学ぶ力**

人との関わりにより、コミュニケーション能力や表現力の向上が期待できる！

「生きる力」を育むためには、子どもたちが、より多くの人と関わり、様々な体験活動を行うことで**体験知**を増やすことが大切であり、学校内だけでの人との関わりや教師だけで仕組む体験活動だけでは十分とは言えない

**体験活動の充実は不可欠！**

親子での体験の  
必要性に気づく  
機会にも！

**教師だけの力には限界がある・・・**



# 地域の力を生かす！

○子どものために良い授業や体験活動を仕組んでいくのは教師としての仕事の醍醐味！ 力量UP!

○ネットワークを築くには労力が必要だが、機能が生まれる。

・子どもたち

・保護者

\* 学校を

・保護者の高

やりがいの  
ある職場を  
めざして！

単える

理解が深まる)

運の高まり

同士で

(理不尽な要求が減る)

・学校と保護者、地域住民の役割分担による効率化

○これから目指すべき学校の姿の一つ

『コミュニティ・スクール』



- 保護者や地域住民の力（支援）を生かして、地域を巻き込みながら、より充実した、効果的な授業や体験活動、そして安全・安心な環境整備を・・・

さらに家庭教育の充実により・・・

よりよい学校教育をめざして！

組織として機能する  
「協育」ネットワークの拡充により



# 「協育」ネットワークの構築のために

- **組織的に！（体制づくり）**
  - ・ **地域協育推進担当**の位置づけ
  - ・ **校区コーディネーター**（公民館）との連携
  - ・ **教育の協働に関わる研修**の実施  
（教職員の力量アップ！）
- **P T Aの活性化！（家庭教育の充実）**
- **積極的な情報発信！（保護者や地域住民の理解）**
  - ※ **マスコミを積極的に利用する！**



目の前の子どもたちのために  
今、何が出来るか...



**保護者や地域の方たちの生き甲斐の場所となる学校へ!**



全ては子どもたちのために！

ご清聴ありがとうございました



# 協育コーディネーターとの連携

- ・学校の教育目標・重点目標・具体的な取組などについて知っていただく。
- ・学校での取組について詳しく知っていただく。
- ・学校の人材情報とコーディネーターの情報とをすりあわせる。(共通理解)
- ・他の学校の情報や他地域の情報について教えていただく。(「協育」ネットワークの拡充！)
- ・公開授業や授業参観、校内研究にも必要があれば参加していただく。



# 良いことを長続きさせるために

- 取組をマンネリ化させない → 工夫・改善
- 効率化を図る → パターン化 役割分担
- 情報の共有 → 対話
- 無理をしない  
無理をさせない → できる人が  
できる時に  
できることを
- 不協和音を生まみ出さない → 常に情報交換

感謝の気持ちを忘れないことを職員には常に話している



# 教師もコーディネーターもサポーターも

お互いに

- ・明るく、笑顔で！
- ・時間を守る！
- ・秘密を守る！
- ・役割を理解し合い、しっかりと果たす！
- ・決めつけをしない！
- ・思ったことや感じたことはすぐに伝える！
- ・疑問があれば尋ねる！
- ・無理をしない、させない！
- ・良いことはどんどん広める！

釈迦に説法では  
ありますが



# 協育コーディネーターや学校支援ボランティア と子どもや教師が関わることで

- 子どもも、教師も**力をつける**！
- 地域の方々も**生き甲斐**を感じ、趣味や特技を生かすことができる！ **大人も学ぶ**
- 学校や地域に**活力が生まれる**！
- 人と人が**つながる**！

**安全・安心**

**まちづくり**

**人生が豊かになる！**

**絆**

**みんなが  
幸せ**